

## 平成 8 年度科学技術週間行事の開催

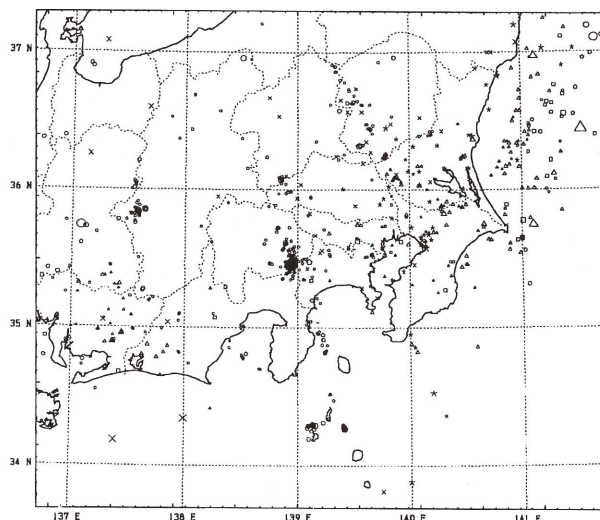
平成 8 年度科学技術週間は、4 月15日（月）から 4 月21日（日）までの一週間全国で実施されました。

第37回を迎える今年は、標語を「すごいね 科学って たのしいね 科学って」と定め、科学技術に関し広く一般国民の関心を深め、我が国の科学技術の振興を図ることを目的に、毎年開催されています。

次代の科学技術を担うに相応しい人材の確保に取り組む、これら人材がその能力を十分に発揮できる望ましい環境を整えていくことが急がれている中、平成 7 年11月に成立した「科学技術基本法」において、青少年をはじめ広く国民があらゆる機会を通して科学技術に対する理解と関心を深めることができるよう、必要な施策を講ずるものとされています。

平成 8 年度科学技術週間においては、このような状況に鑑み、昨年度に引き続き将来の日本を担う青少年の科学技術離れ対策に重点を置いて開催されました。

告があった。本震の23分前にM4.6の前震が有り、前震、余震を含め250個の小・微小地震が観測された。駿河湾で29日04時54分、M1.5、05時06分、M1.2、13時03分、M2.8、16時16分、M1.6の4個の地震が観測された。深さはいずれも11～15kmであった。



## 関東・東海地域における 3 月の地震活動

震源決定したマグニチュード（M）4 以上の地震は 9 個で、その内深発地震は 2 個であった。

月日	時分	深さ (km)	M	震央地名
3/ 4	17:39	31	5.1	茨城県東方沖
3/ 5	00:10	951	4.5	遠州灘
3/ 6	23:12	17	4.6	山梨県東部
3/ 6	23:35	17	5.6	山梨県東部
3/17	16:49	5	4.3	岐阜県南東部
3/18	09:17	48	4.0	福島県東方沖
3/18	11:06	43	5.0	銚子付近
3/20	13:25	307	4.6	遠州灘
3/22	14:19	1	4.1	福島県東方沖

群馬・栃木県境付近の群発地震活動は静穏だった。長野県西部では、小・微小地震が32個観測された。最大地震は22日10時27分、M3.2、深さ 7 kmであった。

山梨県東部では 6 日23時35分、川口湖で深度 V（JMA）の地震が発生し、負傷者や建造物被害の報

## 人事異動

3 月31日付け

宮本 誠	定年退職
熊谷 貞治	定年退職
永田 菊彦	出 向 科学技術庁
	併 解 管理部庶務課庶務係長
	併 解 管理部庶務課安全管理係長
沼野 夏生	辞 職

4 月 1 日付け

草壁 和秀	昇 任	管理部庶務課長補佐
	併 任	管理部庶務課庶務係長
	併 任	管理部庶務課安全管理係長
安田 真人	配置換	先端解析技術研究部情報解析室
飯泉 勝巳	配置換	管理部企画課
倉谷 定秋	配置換	管理部会計課
高橋 大吾	配置換	管理部会計課
横溝 邦雄	併 任	先端解析技術研究部情報解析室調査係長
杉 正人	出 向	気象庁気象研究所
千葉 長 転	任	気圏・水圏地球科学技術研究部気候変動研究室長

井上 公 転 任 地圏地球科学技術研究部主任  
研究官

木村 尚紀 採用 地震予知研究センター海溝型  
地震予知研究室

併 任 管理部企画課 (8.6.30まで)

青井 真 採用 地震予知研究センター地震前  
兆解析研究室

鶴川 元雄 配置換 地震予知研究センター火山噴  
火予知研究室長

東浦 将夫 併 任 新庄雪氷防災研究支所雪氷防  
災第1研究室長

佐藤 照子 昇 任 防災総合研究部主任研究官

断・融解手法の高度化に関する研究。

(カナダ)

#### 【招へい】

- ・ 3.23～3.31 Thamas Katona (ハンガリー) 発電  
所非常用冷却水タンクの耐震実験に参加し、安  
全性評価と解析手法の検討を共同で実施する。
- ・ 3.25～3.31 Chamurun Ruanpichito, Sunguan  
Kantawon, Chinawatt Teabisesu (タイ) 熱帯  
域における水文過程の研究についての情報交  
換。
- ・ 8.3.25～9.3.24 Enrico Mazzini (イタリア) 地震  
時における斜面変動の研究。

### 国際交流

#### 【派遣】

- ・ 3.22～5.31 福山 英一 (地圏地球科学技術研  
究部主任研究官) 3次元クラックモデルに関す  
る研究のため。 (フランス)
- ・ 3.31～4.8 岩崎 伸一 (気圏・水圏地球科学技術  
研究部主任研究官) UJNR津波シンポジウム出  
席及び津波危険度に関するハワイ大学研究者と  
の情報交換。 (米国)
- ・ 3.31～4.16 岩波 越 (長岡雪氷防災実験研究  
所主任研究官) 氷帽コア解析結果の解釈のため  
の雲物理過程の研究。 (カナダ)
- ・ 3.31～4.18 大倉 博 (先端解析技術研究部隔  
測解析研究室長) / 實測 哲也 (先端解析技術  
研究部隔測解析研究室) 衛星データの防災科学  
技術への利用に関する調査と共同研究の推進の  
ため。 (ドイツ・カナダ・米国)
- ・ 3.31～4.29 木下 繁夫 (防災総合研究部地震・  
火山防災研究室長) 群列記録の解析方法に関す  
る研究を行うため。 (米国)
- ・ 3.31～5.1 御子柴 正 (防災総合研究部耐震工  
学研究室) 国際共同研究「非常用冷却水タンク  
の耐震安全性に関する研究」のため。 (米国)
- ・ 3.31～5.31 小原 一成 (地震予知研究センター  
主任研究官) 地下構造の不均質性・非等方性に  
関する研究を行うため。 (米国)
- ・ 3.31～5.31 東 久美子 (長岡雪氷防災実験研究  
所主任研究官) / 小澤 久 (長岡雪氷防災実  
験研究所重点研究協力員) 氷帽コア試料の切

#### 主な来訪者

- 3月11日 岡山大学環境理工学部環境デザイン工学  
科講師 他
- 3月13日 陸上自衛隊 (市ヶ谷駐屯地)
- 3月14日 水戸消防署
- 3月19日 税務大学校
- 3月21日 中国科学院新疆地理研究所教授 (新庄)
- 4月1日 米国大使館一等書記官 (環境科学技術担当)
- 4月5日 ガリ国連事務総長ならびに小和田国連大  
使ご夫妻 他
- 4月17日 湖北省科学技術協会主席 (中国) 他

編集兼 防災科学技術研究所  
発行 〒305 茨城県つくば市天王台3-1  
TEL (0298) 51-1611 (代)  
FAX (0298) 51-1622

(再生紙使用)